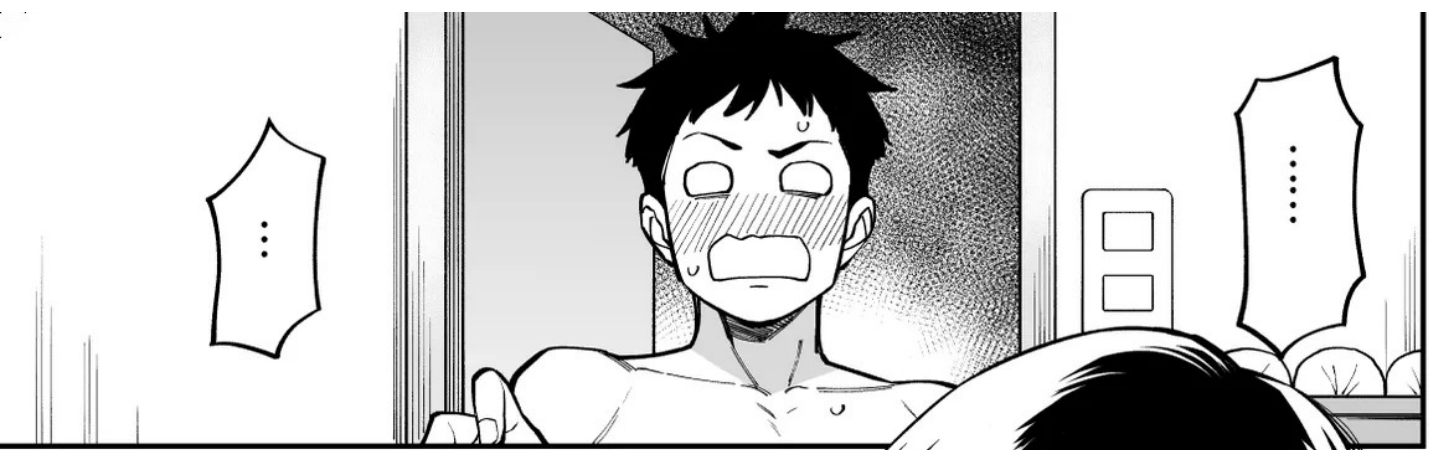
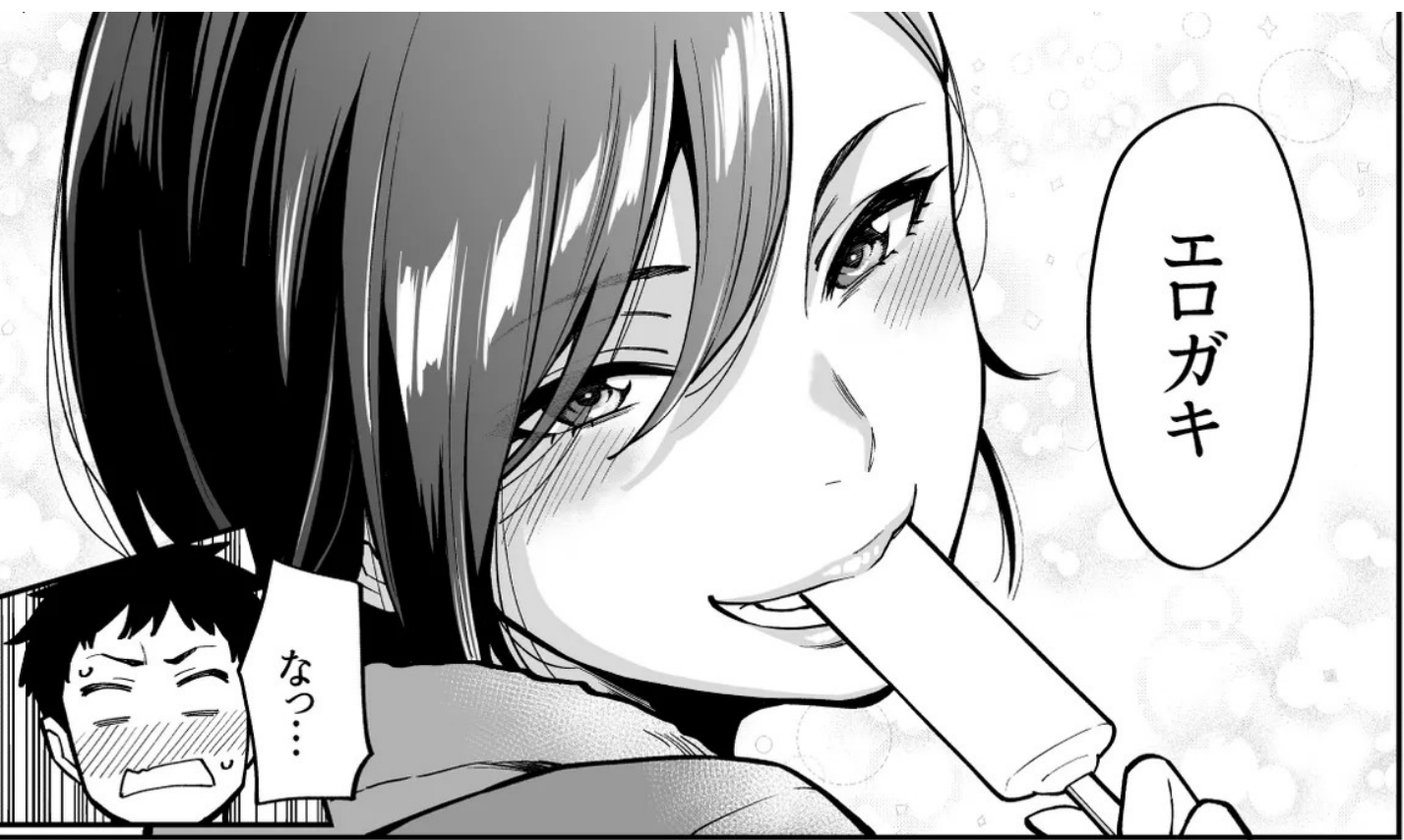


姉ちゃんの友達









紫乃と俺と姉ちゃんは
昔からずっと仲がいい



どこに行くにも
何をするにも

いつも一緒だった

当時俺は泣き虫で

姉ちゃんにはいつも
呆れられていたけど



大丈夫？

紫乃はいつだって
優しかった



その頃から俺は
ずっと――

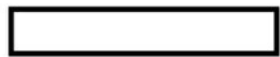
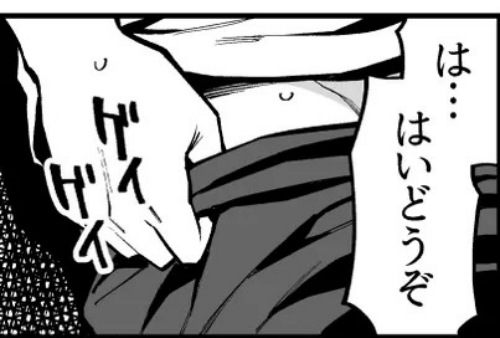


ギッ

そんな紫乃の

裸……





でさー！

夏が康生の
寝てる顔の上に

キ

カマキリ
置いちゃつてさー！

本当…散々だったよ
あんときは

大慌てで逃げ出して
扉に思いつきり
ぶつかっちゃうし

あはは！

でもさー

あの泣き虫だった
「こーちゃん」がさー

空手ねー

…

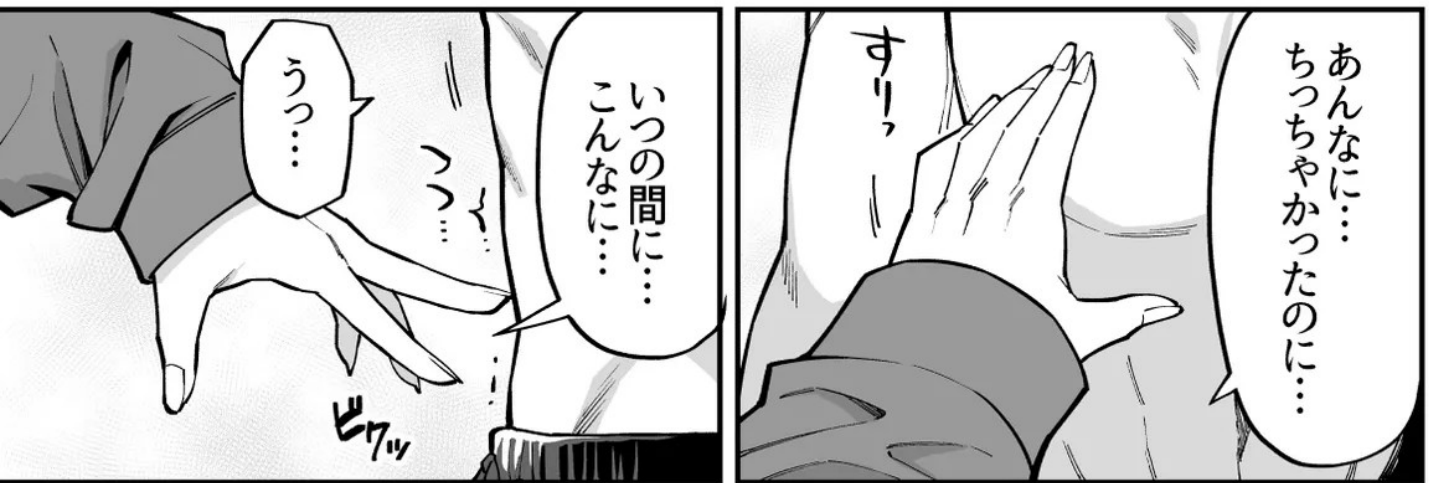
…あれ!? 何
この空気…

ねえ

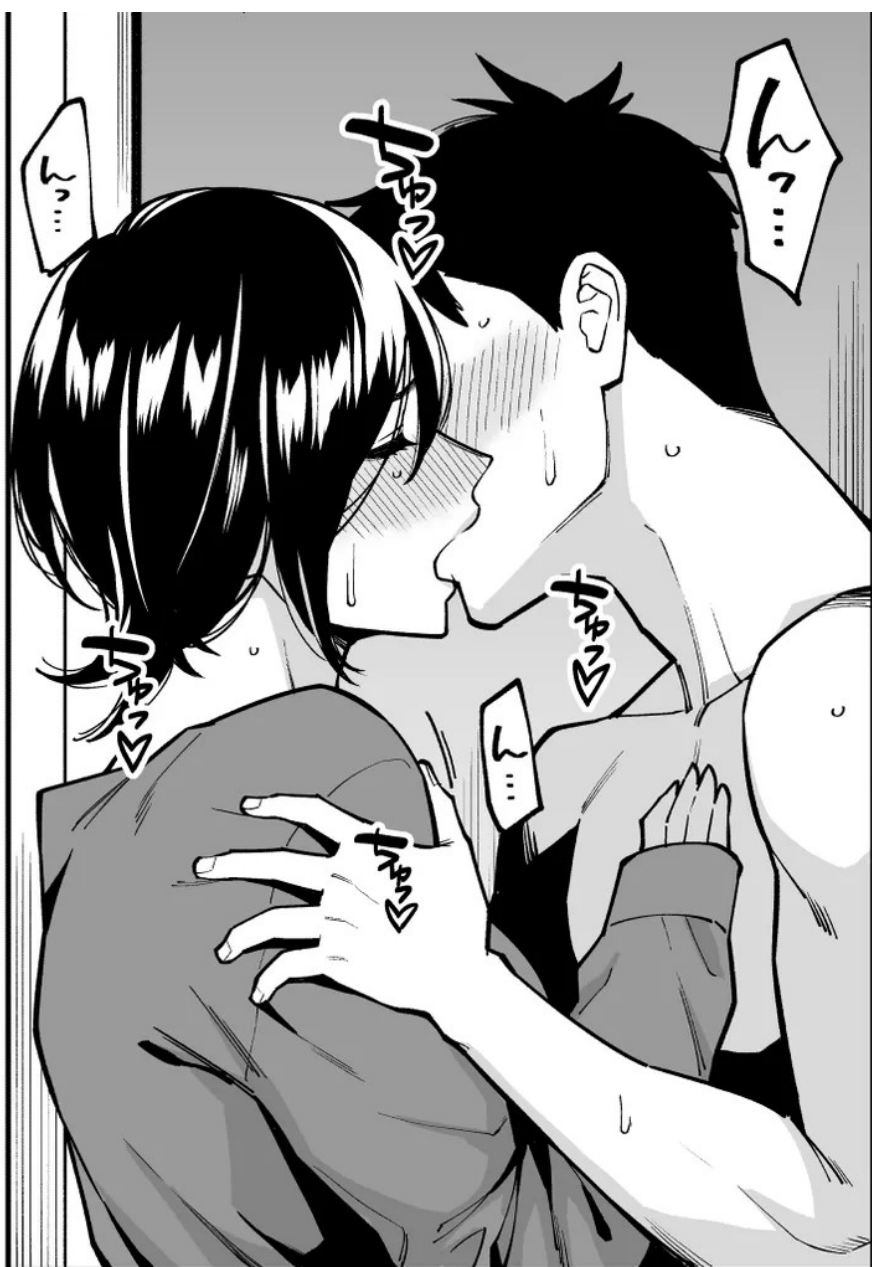
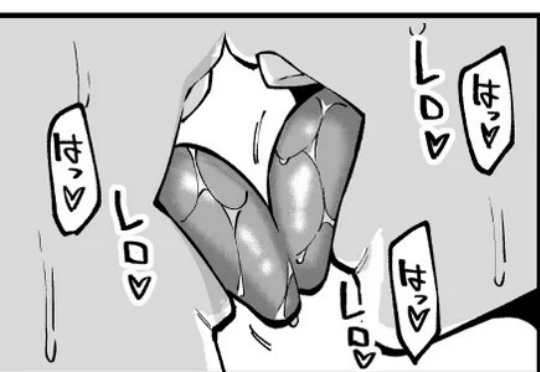
…



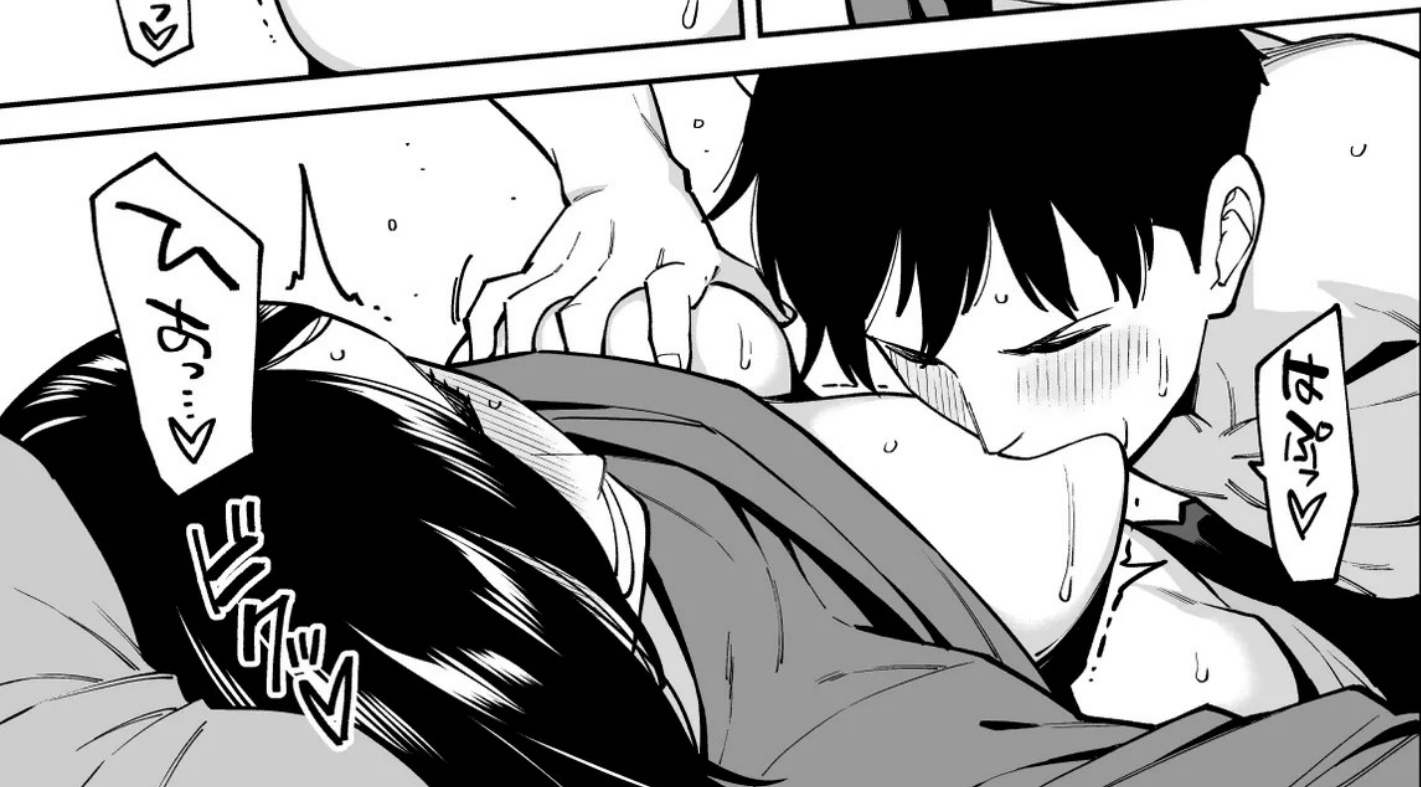






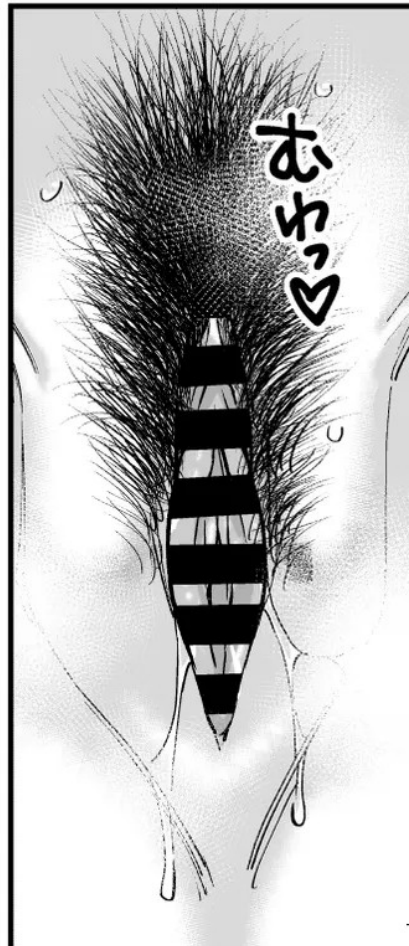




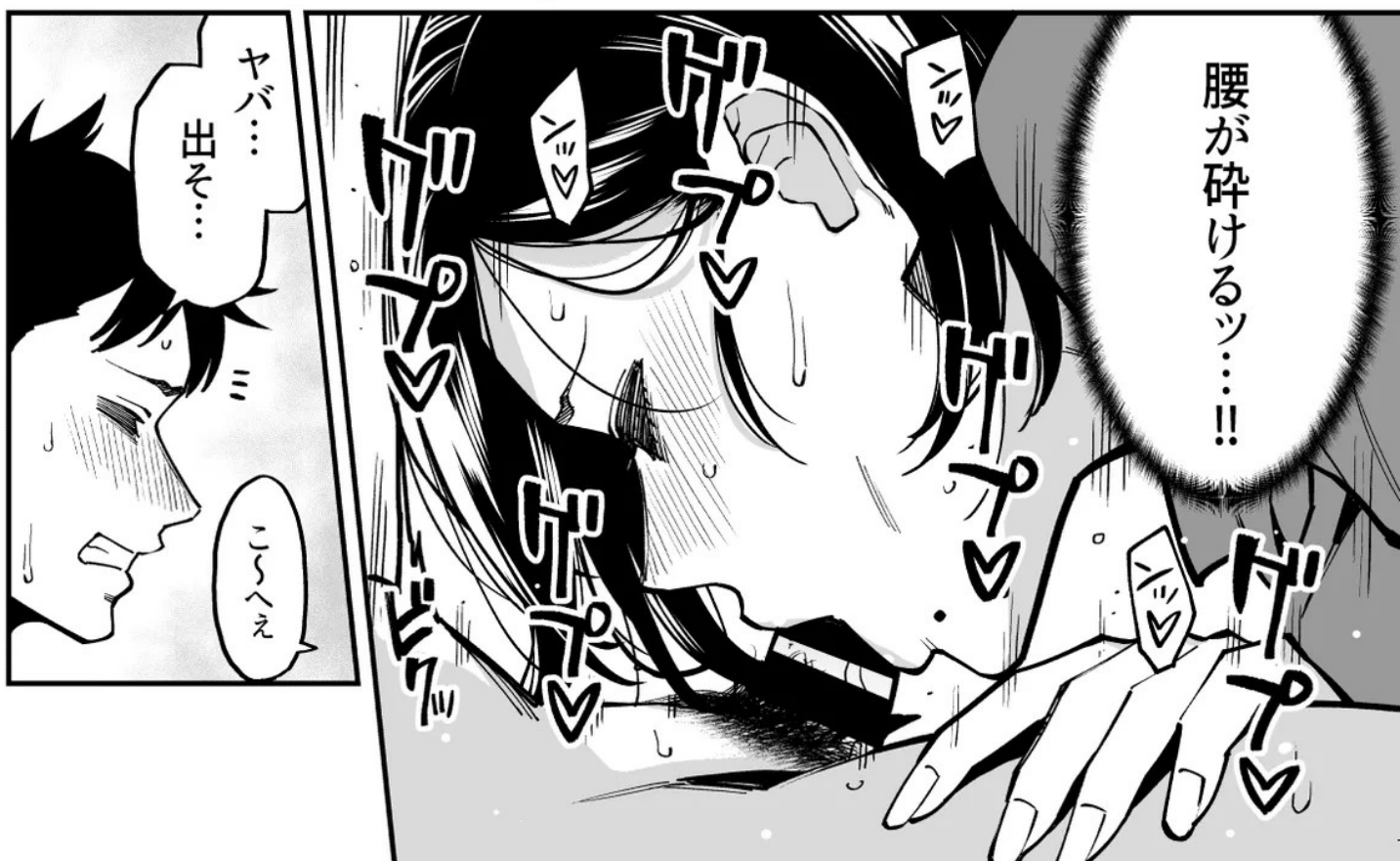


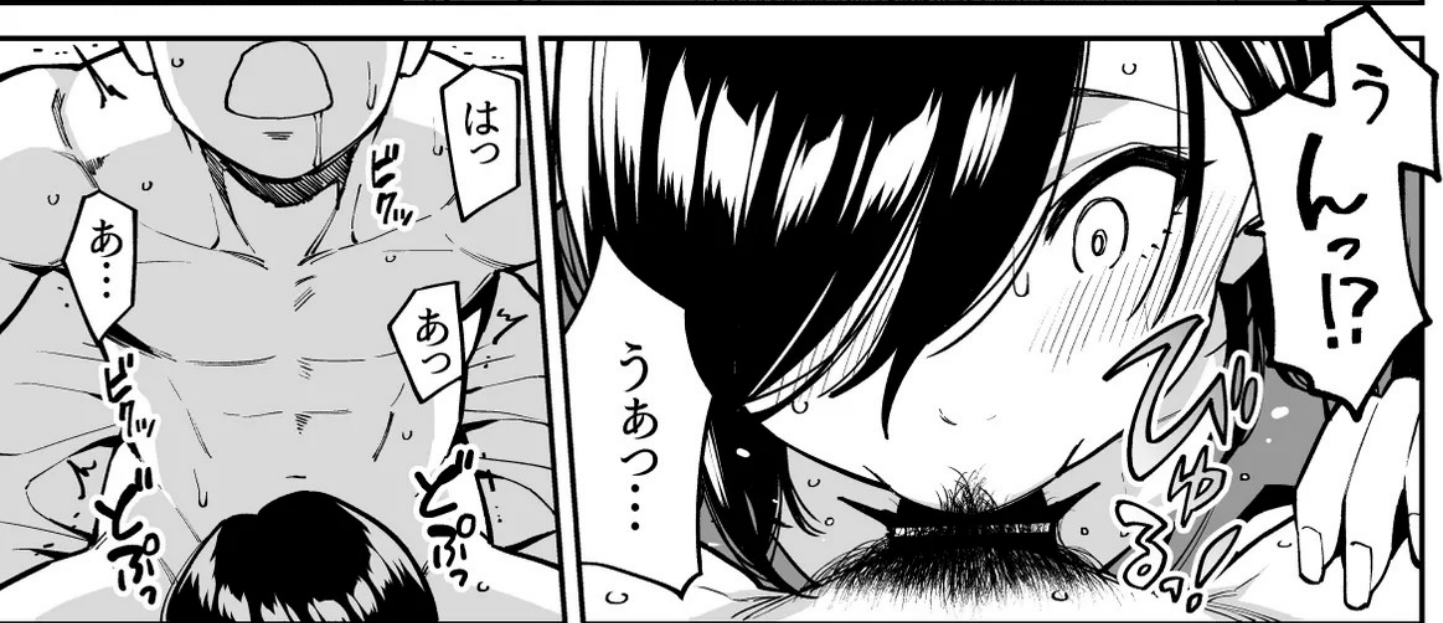




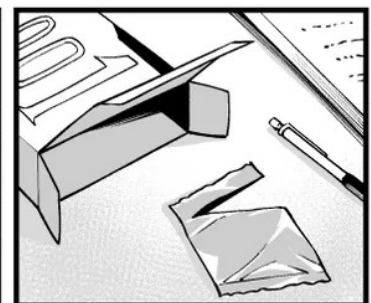
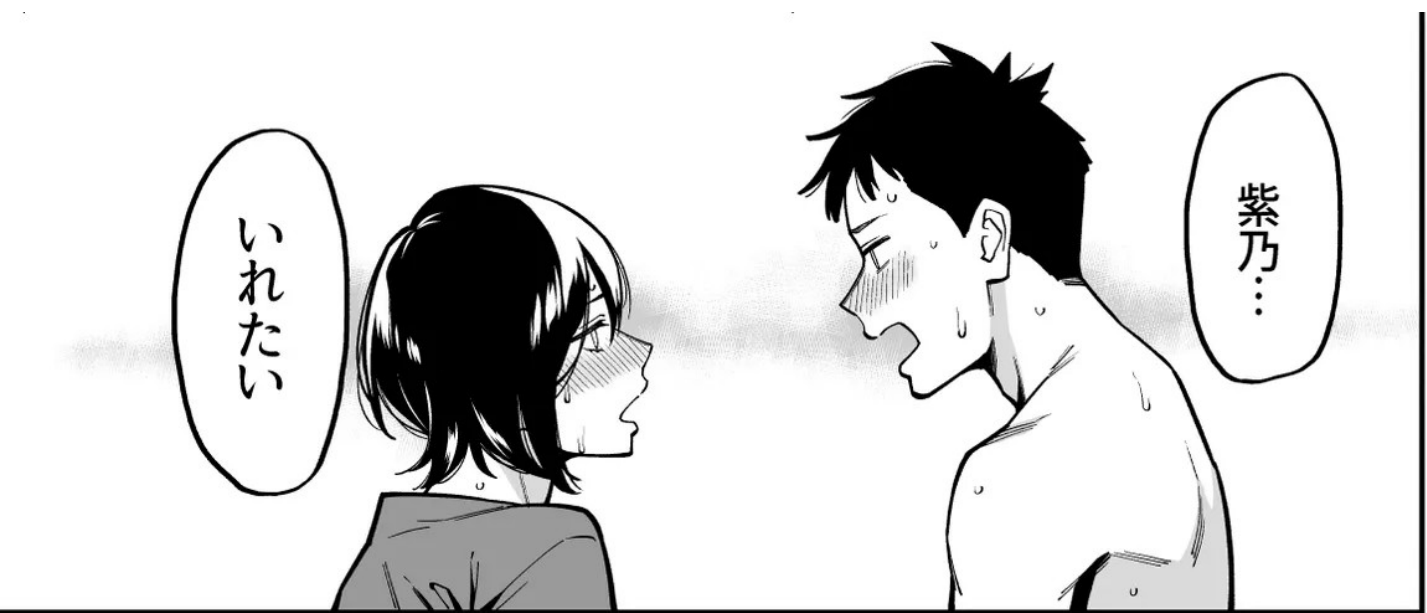










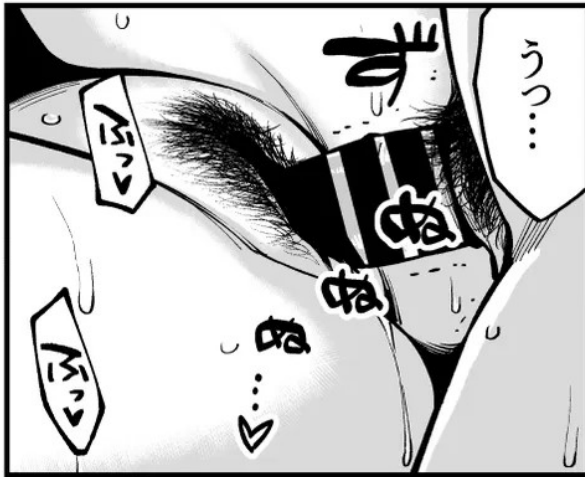






お姉ちゃんには
ナイショね…









頭がどうにか
なりそうだっ…!!



背中がっ…

ゾクゾクする…!



あゝあゝあゝ



はっ

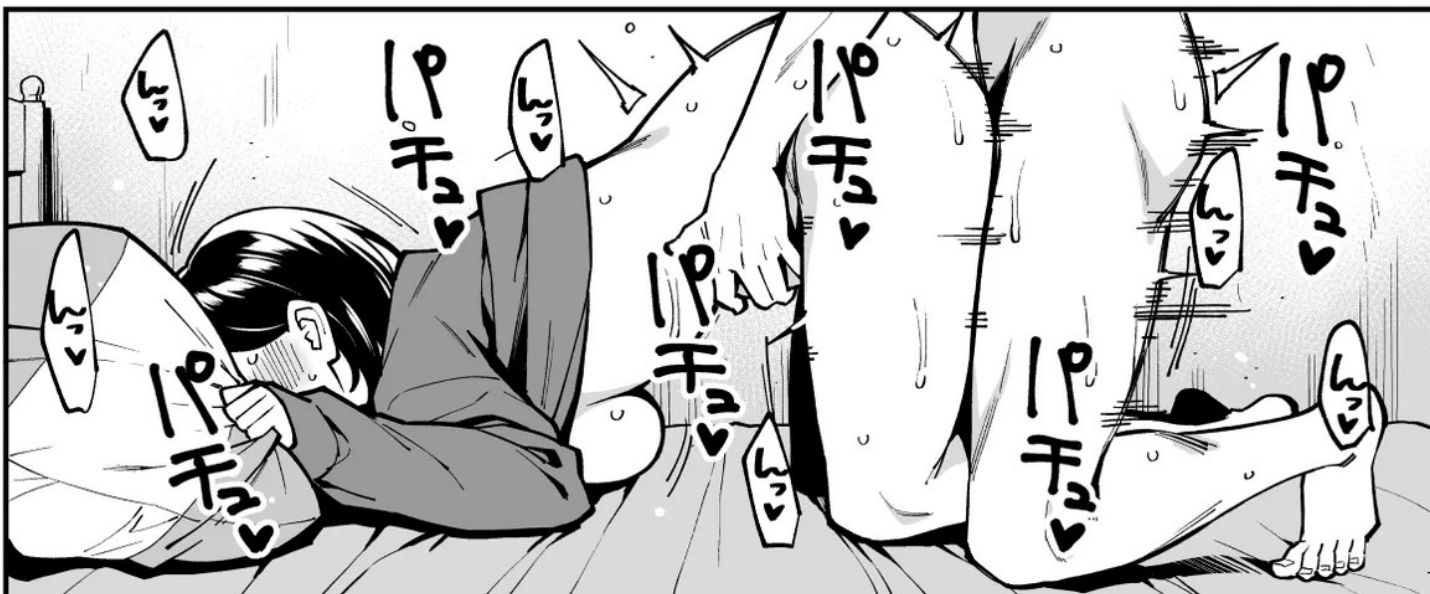
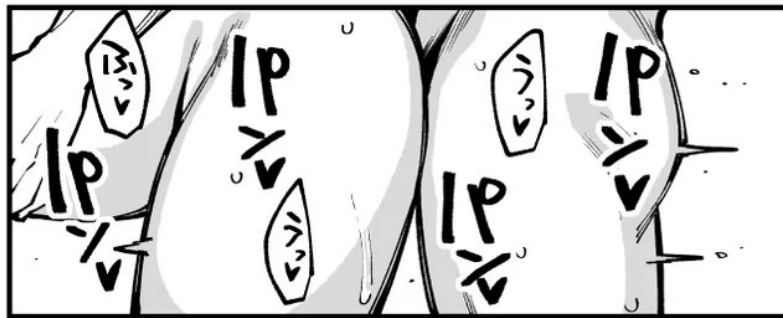
はっ

はっ

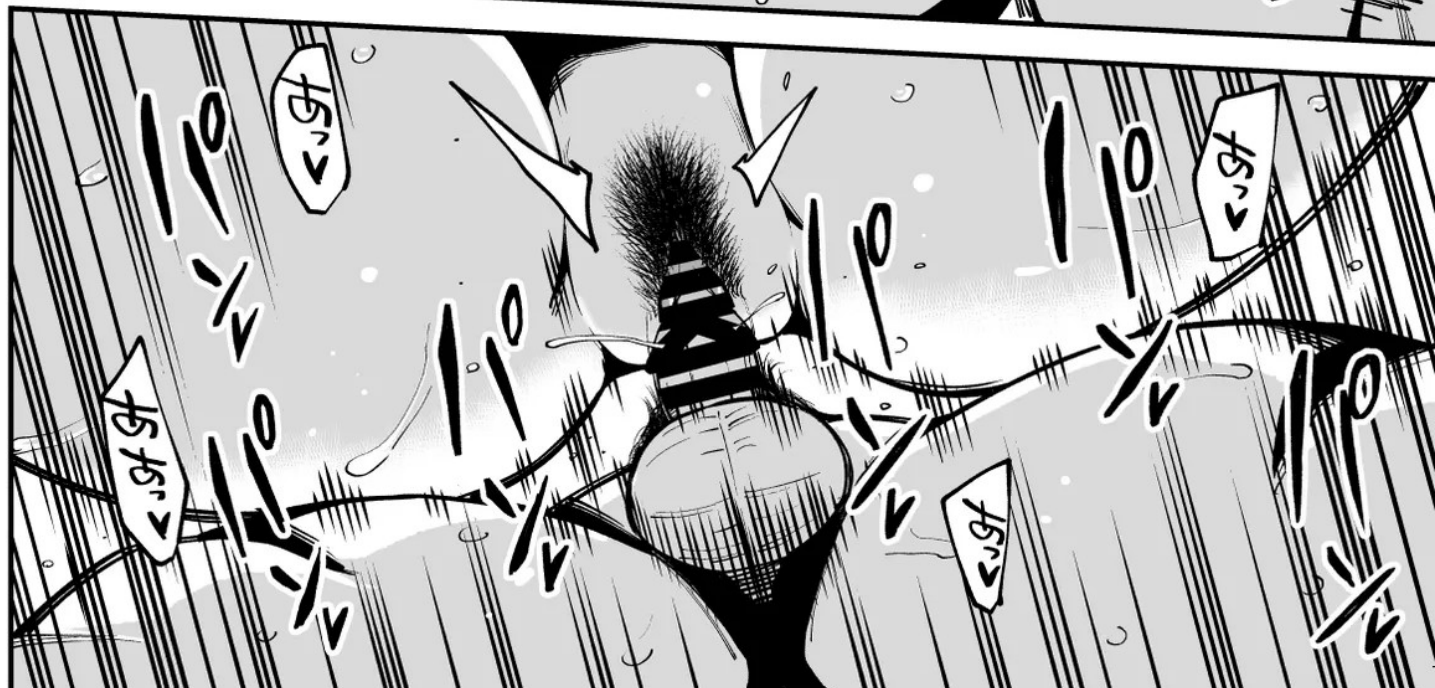




紫乃...!













いつも紫乃に
守られてばかりの
自分が嫌だった

だから強くなろう
と思ったんだ

今度は自分が

好きな人を
守れるように…って

かばっ♡

わっ

いつまでやってんだ
アイツら…

全部聞こえてる
っつーの！

ちょ

紫乃

またそんな
ことしたら

あっ

あっ